

平成 21 年 10 月 6 日

各 位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ
(コード番号：4573 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号
代 表 者代表取締役社長 真島 行彦
問 合 せ先ビジネスマネジメント部長 中村 宏司
電 話 番 号 03 (3596) 8011

男性型脱毛症に対する RK-023 の前期第 2 相臨床試験開始についてのお知らせ

このたび、男性型脱毛症(注1)治療薬として当社が開発中の新規化合物 RK-023 の前期第 2 相臨床試験を開始しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、新規生理活性脂肪酸誘導体である新規化合物(開発コード RK-023)を、皮膚疾患領域の治療薬として開発しており、このたび、男性型脱毛症に対する前期第 2 相臨床試験を開始しましたのでお知らせします。

RK-023 につきましては、昨年来、健康成人男性を対象に行ってきた第 1 相臨床試験において安全性上の問題は少ないことが示されております(注2)。そこで、男性型脱毛症患者を対象に長期使用での RK-023 の安全性の確認及び予備的な有効性の検討を行う目的で、前期第 2 相臨床試験を開始しました。本試験は、頭皮への治療薬 13 週間連続塗布によるプラセボ(注3)を対照とした 2 重盲検試験(注4)として実施します。

本試験では、RK-023 の安全性及び薬物動態について確認するとともに、毛髪に対する有効性を予備的に確認します。

当社代表取締役社長の真島行彦は、「当社の重点領域である皮膚科において自社開発を進めてきた男性型脱毛症に対する RK-023 の前期第 2 相臨床試験が予定通り開始できたことを嬉しく思います。迅速に開発を進めるとともに、国内外での提携交渉を進めていく予定です。」と述べております。

当社は、男性型脱毛症治療薬として RK-023 の開発を迅速に進めることにより、少しでも早く男性型脱毛症の悩みを持つ患者様のお役に立てるよういたします。

注1) 男性型脱毛症は、壮年性脱毛症とも呼ばれ、思春期以降に、男性ホルモンの影響を受け、頭頂部から前頭部に限局して、太く長い毛が再生せずに、細く短い軟毛に置き換わり、最終的には毛包は萎縮し毛髪数が減少する、段階的に薄毛・脱毛が進行する疾患で、日本では約 1200 万人の男性が罹患しています。

注2) 2009 年 7 月 16 日付当社プレスリリース参照

注3) 薬剤(ここでは RK-023)が含まれていない製剤。

注4) 臨床試験を客観的に実施するため、被験者も、治療を行う医師も、治療薬、プラセボのどちらを使用しているのか分らずに試験を行う方法。

・株式会社アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは1989年9月、医薬品の製造販売、研究開発を目的に設立された製薬ベンチャー企業です。医学博士でもある社長のもと「Physician-Oriented New Drug Innovation」(臨床医による新薬開発)をテーマとし、これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに新薬の開発を行っております。

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液 0.12%は、創業者の上野隆司博士が1980年代に発見した「プロストン」を世界で初めて活用した緑内障・高眼圧症の治療薬として1994年より日本において発売されています。

レスキュラ®点眼液 0.12%は、眼局所及び全身性の副作用が少なく、1日2回の投与で安定した眼圧下降作用をもたらす、視神経保護作用と眼血流増加の作用メカニズムによりすぐれた治療効果を発揮します。

以 上